『働くことを軸とする安心社会～まもる・つなぐ・創り出す～』の実現を目指して！
NO.86
2026年11月4日

連合西部ニュース いきいき

連合島根西部地域協議会
〒697―0022
島根県浜田市浅井町64―2
TEL：0855-24-2055
FAX：0855-24-2056
○発行責任者　原田　進哉
○編集責任者　堀江　元気

2026平和ノサップ集会に参加

今年の平和行動in根室　めました。
平和ノサップ集会には連合島根から8名が参加し西部地協からは、青年女性委員会「高橋悠希」委員長が参加しました。
根室市にある納沙布岬「望郷の岬公園」で開催された「2026平和ノサップ集会」では、元島民から、海の向こうに見える近くて遠い故郷に思いをはせながら、北方領土の一日も早い返還の実現と返還要求運動の灯を消すことなく仲間や次世代への継承を呼びかけました。
依然、日露関係は厳しい状況にありますが平和の尊さと平和運動の継続の重要性を共有するとともに参加者一人ひとりが家庭・職場・地域で平和の思いを広げていくことを誓いました。
また、連合島根からの参加者は、連合中国ブロックの仲間とともに、同じ領土問題として「竹島の領土権確立」について、世論喚起を図ることを目的にチラシ配布と宣伝活動を行いました。
加えて、集会の中では、「特別報告」として、中部地協から参加した「澁谷崇裕」大田地区会議議長が「竹島問題の歴史と現状」について報告し、竹島は「わが国固有の領土」であることを改めて訴え「2026平和ノサップ集会」参加者に理解と協力を求

その後「2026平和ノサップ集会アピール」を参加者全員で採択し、改めて北方領土の早期返還に向けて引き続き取り組みを進めることの共有化が図られました。







平和行動in根室に参加して

根室での平和行動は、現地に向かう際に飛行機トラブルもありましたが、夜遅くに無事に到着することができて良かったです。
平和行動当日の朝は、納沙布岬から近くに見えるはずの島は目にすることができないまま集会が始まり、集会の中では、連合中国ブロックの仲間みなさんにもご協力いただき竹島返還に向けたチラシ配布や返還に向けた特別報告を行わせていただき竹島問題についても参加者の皆さんと共有することができました。
平和行動が終わるころには目の前に北方領土を見ることができ、目に見えないラインによって目と鼻の先にある故郷に帰ることのできない島民の方々の思いや、現地に行って見える領土問題を肌で感じ、改めて一日も早い問題解決に向けて自分にできることを行っていきたいと思いました。
また、平和行動を通じて様々な業種や幅広い年齢層の方々と交流することができ、自分自身の視野を広げ、成長につながる貴重な経験となりました。



（高橋悠希　江津市職員労働組合）

山本益田市長との市政懇談会を開催

10月7日(水)、益田市内の三好家において山本浩章益田市長との市政懇談会を開催しました。
当日は、西部地協および益田・鹿足地区会議役員および構成単組・支部代表者など15名の参加をいただき、主催者を代表して西部地協の原田議長から懇談会の目的などについて挨拶を受けました。また、連合島根からは黒目事務局長にお越しいただきご挨拶いただきました。
その後、山本市長から「益田市の市政運営と課題」と題して講演をいただきました。
山本市長からは、人口減少の課題、三隅～益田間のバイパス道路開通による効果、萩石見空港の利用促進、地域公共交通の維持、観光産業の強化、ＩＴ人材の育成、地域医療の課題など多岐にわたる項目に触れ講演いただき、益田市の抱える課題を共有することができました。
意見交換では、益田駅の南北通路、地域医療、今後のまちづくりについてなど地域課題の質問に対し、丁寧にお答えいただき山本市長との今後の連携と懇親を深める機会となりました。



西部地協第10回委員会

日時：2026年11月28日(土)14:30～

場所：浜田ニューキャッスルホテル

NEWS

2026年度列島クリーンキャンペーン実施

【各地区開催状況】

地区	開催日程	開催場所
邑智	10月3日(土) 9：00～11：30	香木の森周辺
江津	9月5日（土） 9：30～11：00	シビックセンターゾーン周辺
浜田	10月3日(土) 7：00～ 8：00	浜田漁港周辺
益田・鹿足	9月19日(土) 8：30～ 9：30	持石海岸ふれあい広場

今年も環境や廃棄物処理を考える運動「列島クリーンキャンペーン」の運動が各地区で実施されました。

この運動は環境政策の中で、勤労者・生活者が、自らのライフ・スタイルを見直し、ゴミの減量・再利用・再使用など、適切な処理により環境整備・環境美化に対する環境問題・廃棄物の処理問題について考える機会ととらえ、国民運動の一環として取り組みを例年展開しています。

今年度は暑さ対策を踏まえ開催時期を工夫していただき西部地協内各地区において労福協との連携を図りながら、子供連れの家族を含め多くの組合員の協力のもと地域に根ざした顔の見える運動にふさわしい取り組みとなりました。

引き続きこの取り組みを通じて、地域の環境美化や廃棄物処理の問題などを考える機会にしてほしいと思います。







ろうきん・こくみん共済COOP学習会の開催



10月31日（土）、ろうきん浜田支店会議室において、地協幹事及び、ろうきん浜田支店エリア内の構成組織代表者にお集まりいただき学習会・意見交換会を開催しました。

冒頭、原田西部地協議長より、学習会開催の趣旨やNPO寄付システムの取り組みに対するお願いなどのあいさつの後、ろうきん並びにこくみん共済coopさんから「家計の見直し運動」の展開に向けた提案と協力要請を受けました。

その後の学習会では、講師に島根県ろうきん推進アドバイザーの村上智視さん（益田市職労組）をお招きし、ご自身の経験を交えながら組合活動と労金運動についてわかりやすくご講演いただきました。

組織の若返りが進む中で、改めて労働者自主福祉運動の必要性や推進強化に向けた取り組みの理解浸透を深めることができました。

今後も西部地協は各地区会議や各地区労福協と連携し、労働者自主福祉運動の推進強化を図っていきます。





